

ワークセンターほほ笑み主催連続講座

動けない若者 ～ ひきこもる青年達～

家から動けない若者達。地域から孤立する家族。この問題をどの様に考え、アプローチしたら良いかを様々な角度から皆さんと一緒に考えてみたいと思います。青年達が社会参加するためには何が必要なのか。今回は連続講座形式で「当事者の目線」「家族の目線」「支援者の目線」から同問題をみなさんとともに考えて行きたい思います。多くの方のご参加をお待ちしています。

第1回 当事者の目線から考える

かつて家から出れなかった青年達を講師に招き、「どんな気持だったのか?」「家で何を考えていたのか?」「青年達は怠けていたのか?」を生々の声を聞きながら考えてみたいと思います。

日 時: 2012年2月8日(水) 18時～20時 定員: 20名 参加費: 1000円
場 所: うるま市健康福祉センターうるみん 第2交流室

講 師: 神里 香織 (ワークセンターほほ笑み) 松川 寛輝 (ワークセンターほほ笑み)



第2回 親の目線から考える

「親の会」の参加者を交え、また関東より特別講師として工藤定次氏をお招きし「家族の気持ち」「親の育児が悪いのか?」「どんな支援が必要なのか」を親たちと一緒に考えてみたいと思います。

日 時: 2012年3月14日(水) 18時～20時 定員: 20名 参加費: 1000円
場 所: うるま市健康福祉センターうるみん 第2交流室

特別講師: 工藤 定次 (特定非営利活動法人 青少年自立援助センター 理事長)



第3回 支援者の目線から考える

青年達や家族と向き合っている支援者達に「どのような支援が行われているのか?」「今後必要な支援とは?」等をディスカッションしたいと思います。

日 時: 2012年4月11日(水) 18時～20時 定員: 20名 参加費: 1000円
場 所: うるま市健康福祉センターうるみん 第2交流室

講 師: 墓目 崇 (地域若者サポートステーションなは チーフリーダー)
諸留 将人 (アソシア社会大学 学長 精神保健福祉士)



- 3回とも申込みされる方は、2000円に割引いたします
- 講座での収益は、スマイルカンパニーを通じて若者の就労訓練費として活用させていただきます

お問い合わせ

ワークセンターほほ笑み TEL・FAX 098-978-1205
うるま市勝連南風原2579 E-mail: w-hohoemi@silver.ocn.ne.jp

ワークセンターほほ笑み主催 連続講座
動けない若者
～ ひきこもる青年達 ～
<参加申し込み 送信票>

ワークセンターほほ笑み FAX : 098-978-1205

*この用紙で上記 FAX 番号へ送信お願いいたします

所属等			
住所	〒		
電話番号		F A X	
申込責任者		参加人数	
備考			

* 下記に参加者名・参加講座名に○の記載をお願いします

3回すべて参加申し込みされる方は、1000円×3回 → 2000円へ割引いたします

参加者	講座名	備考
	<input type="checkbox"/> ①当事者の目線 2月8日(水)	
	<input type="checkbox"/> ②親の目線 3月14日(水)	
	<input type="checkbox"/> ③支援者の目線 4月11日(水)	
	<input type="checkbox"/> ①当事者の目線 2月8日(水)	
	<input type="checkbox"/> ②親の目線 3月14日(水)	
	<input type="checkbox"/> ③支援者の目線 4月11日(水)	
	<input type="checkbox"/> ①当事者の目線 2月8日(水)	
	<input type="checkbox"/> ②親の目線 3月14日(水)	
	<input type="checkbox"/> ③支援者の目線 4月11日(水)	
	<input type="checkbox"/> ①当事者の目線 2月8日(水)	
	<input type="checkbox"/> ②親の目線 3月14日(水)	
	<input type="checkbox"/> ③支援者の目線 4月11日(水)	

お問い合わせ ワークセンターほほ笑み TEL 098-978-1205